※令和４年度以降入学生用

学校番号	402

令和８年度　保健体育科

教科	保健体育	科目	保健	単位数	１単位	年次	２年次
使用教科書	新高等保健体育（大修館）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・健康・安全について理解しよう。
・健康的な生活行動について学ぶ。
・日常生活で直面するであろう健康課題を知り、その解決方法を考える。
・健康や安全についての社会的な取組や個人での対応について知る。
・身近な健康問題に興味をもってもらう。

2　学習の到達目標

・心身の健康について理解を深めることができる。
・健康を保持増進するための課題を発見し、合理的、計画的に解決することができる。
・生活における健康を理解して、健康で安全な生活を実践することができる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	健康を保持増進するためには、自らの健康を適切に管理すること及び環境を改善していくことが重要であることに関心を持ち、個人生活及び社会生活における健康・安全課題について、意欲的に学習に取り組もうとする。	健康を保持増進するための課題や個人生活及び社会生活における健康・安全課題についての解決をめざして、知識を活用した学習活動などにより、総合的に考え、判断し、それらを表している。	健康を保持増進するための課題や個人生活及び社会生活における健康・安全課題の解決に役立ち、自らの健康を適切に管理すること及び環境を改善していくための基礎的な事項を理解している。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

※令和４年度以降入学生用

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	生涯を通じる健康	①思春期と健康 ②性意識の変化と性行動の選択 ③結婚生活と健康 ④妊娠・出産と健康 ⑤家族計画 ⑥加齢と健康 ⑦高齢社会に対応した取り組み ⑧働くことと健康 ⑨労働災害の防止 ⑩働く人の健康づくり	a: 生涯を通じる健康について理解し、その対策について記述、説明できる。 b: 生涯を通じる健康づくりに適切な方法を選択したり、それらを説明することができる。 c: 生涯を通じる健康とは何かについて資料を探したり、見たり読んだりするなどの学習活動に取り組もうとする。	定期考査	定期考査 グループワーク ノートやファイル提出	グループワーク ノートやファイル提出
後期	社会生活と健康	①大気汚染と健康 ②水質汚濁・土壌汚染と健康 ③健康被害を防ぐための環境対策 ④環境衛生に関わる活動 ⑤食品の安全性と健康 ⑥食品の安全性を確保する取り組み ⑦保健制度とその活用 ⑧医療制度とその活用 ⑨医薬品の制度とその活用 ⑩様々な保健活動や対策 ⑪誰もが健康に過ごせる社会に向けた環境づくり	a: 社会生活と健康に関して例をあげて説明したり、予防対策について、個人でできる対策と社会的な対策について分類して、記述・説明できる。 b: 健康を支える環境づくりに関わる情報から課題を発見し、健康を支える環境づくりなどと、解決方法を考え、適切な整備や活用方法を選択し、それらを説明することができる c: 社会生活と健康について調べたり、発表するなどの学習活動に取り組もうとする。	定期考査	定期考査 グループワーク ノートやファイル提出	グループワーク ノートやファイル提出 調べ学習 発表

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度